



成田中だより

令和7年度学校教育目標『夢へ』

「誰もが夢を持ち、その一步を踏み出せる学校」を生徒とともに目指します！

令和8年3月12日
成田市立成田中学校
TEL 0476-22-0304
生徒数 502名
文責 [REDACTED]

式辞

やわらかな春の日差しが校庭を包み、草花が静かに芽吹き始めるこの良き日に、卒業生の皆さんがこの学び舎を巣立つ日を迎えました。三年間の歩みの中には、努力が報われないと感じた日もあったことでしょう。お昼の校内放送でも流れた、バックナンバーの「水平線」という曲に、「出来ないことが増えるより 出来ることが増えていくこと」「出来ることが増えていくこと」という言葉通り、皆さんは着実に「出来ること」を増やし、自分を磨いてきました。今日は、その積み重ねを胸に、新たな一步を踏み出す門出の日です。その節目の日に、本日は、会場の関係者で人数制限にご協力いただきながらも、多くのご家族の皆様方に列席をいただき、また、成田市長「小泉 一成」様、成田市教育委員会教育長職務代理「高山 勇」様、成田市議会議員様、学校運営協議委員様、本校PTA会長様の来賓の皆様に見守られながら、ここに第七十九回卒業式を挙行できますことに、心から感謝を申し上げます。

卒業生のご家族の皆様には、本日ここに卒業の時を迎え、晴れがましく並ぶお子様の姿に、さぞかし感慨ひとしおの事と思います。心も身体も成長期にある子どもたちですので、様々な出来事にもまれた三年間であったと思います。今、こうして立派な姿で巣立ちの時を迎えた事に、謹んでお慶び申し上げます。

皆さんはコロナ禍で小学校を卒業し、約二ヶ月の自宅学習も経験しました。生成AIなどの技術革新が進む中でも、私たちは「人と人が直に触れ合う学び」のかけがえのなさを、実感しています。

門出に際し、三つのことを伝えます。

一つ目は、一年間大切にしてきた「思い・約束・感謝」の三本柱です。自らの原動力となる「思い」、自分への決意と仲間との絆である「約束」、そして見返りを求めず相手を敬う「感謝」。これらは成田中出身の皆さんの「人柄」として、新しい生活でも必ず生きてくるはずで。

二つ目は、学年目標「大樹」に込めた思いです。

3学年職員は、誰も一人にはさせないという思いで、皆さんと関わり続けてきました。廊下にある学年掲示物にも、「無人島にひとつだけ持参するなら」、「視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚のひとつだけで生きるなら」、「どんな褒め言葉が一番嬉しいか」、「一年生の自分へ」と、自分を見つめ、友達の価値観に触れながら、互いに支え合う大切さを学んできました。加速する情報化社会の中でも、この三年間で磨かれた感性があれば、真実を見極めることができるはずで。迷った時は自分を信じ、「大樹」を忘れずに、その一步を踏み出してほしいと思います。

三つ目は、努力についてです。

「努力しても必ず叶うとは限らないが、努力をしなければ何も叶わない。しかし、努力すれば、必ず心に残るものがある。」

義務教育を終えて、四月から新たな生活が始まります。希望に満ちた四月です。その中でさらなる成長のために、困難に直面する時が必ずきます。その時こそ、「どうしても、どうしても」、「どうしても、どうしても」と自分が望んだ道を信じて、挑戦し続けてください。目指す場所は、常に挑戦の先にあります。

思い・約束・感謝、そして「夢へ」、(校長のみ)

思い・約束・感謝、そして「夢へ」、(アクションのみ)

このメンバーで奏でる最後の機会です。声に出していきましょう。

思い・約束・感謝、そして「夢へ」、(全員で)

私より饒の言葉として

『過去に感謝し、未来へ挑戦』 『過去に感謝し、未来へ挑戦』

私たちは、皆さんが築いた伝統を受け継ぎ、いつまでも皆さんが安心して思い返せる成田中学校であるように努力していきます。皆さんは、本校で学んだ事を誇りにされ、新しい世界に向かって大きく羽ばたいてください。第七十九回卒業生一四九名の前途が幸せに満ちていることを心から祈ります。

最後になりましたが、在学中、全幅の信頼をお寄せいただき、ご支援くださいましたご家族の皆様、常に温かい目で本校生徒を見守ってくださった地域の皆様、そして物心両面で支えてくださいました市当局、市教育委員会の皆様方に感謝を申し上げ、式辞といたします。

成田市立成田中学校 校長 丸 庸仁



答辞

寒さと暖かさが交互に訪れるこの季節。昨日の寒さが嘘のように、暖かなまぶしい光で満ちあふれています。

今日、このよき日に、私たち一四九人は、成田中学校を卒業します。

三年前、私たちは大きな不安、大きな期待を胸に、大きな制服に身を包み入学しました。入学式で聞いた先輩方の力強い歌声に、これから始まる中学校生活への期待を膨らませたことは今でも忘れません。新しい教室、新しい仲間、全てが初めてで戸惑うことや、慣れない環境に不安を感じる日もありました。しかし、日を重ねるごとに少しずつ打ち解け、休み時間に笑い合える仲間ができました。

また、初めての定期テスト、教科ごとに先生が変わる授業に戸惑いを感じることもありました。テストの範囲の広さに驚き、思うように結果が出ず、悔しい思いをしたこともあります。それでも、友達と問題を教えあったり、先生方に質問したりしながら、少しずつ新しい学習スタイルに慣れていきました。こうした経験を通して、努力することの大切さと、支え合うことの心強さを学びました。

二年生になると、クラス替えがあり、新しい環境でのスタートとなりました。仲の良かった友達と離れてしまい、不安を感じたこともありました。しかし、新しいクラスで過ごす日々の中で、仲間の良さを知り、出会いの大切さを学びました。

初めて後輩ができ、最初に「先輩」と呼ばれたときは、少し照れくさく、それでいて胸が引き締まるような、不思議な気持ちになったことを覚えています。頼れる存在にならなくてはいけないという自覚と責任を実感させてくれました。そのため、部活動や委員会活動にもより一層力を注ぎました。仲間と共に声を掛け合い練習に励んだ日々、学校のために協力して取り組んだ委員会の仕事。その一つ一つの経験が、私たちを大きく成長させてくれました。

そして三年生。全ての行事に「最後の」がつかえました。

体育祭。競技が始まる直前、私たちは肩を組んで円陣を組みました。互いの顔を見つめ、「絶対勝つ」と声を掛け合ったあの瞬間、心が一つになったことを感じました。全力で競技に臨み、やり切った後、私たちは何度もハイタッチを交わしました。仲間と分かち合った喜びと達成感は今でも胸の奥に残っています。短い練習期間でしたが、クラス一丸となり、互いに励まし合いながら全力で取り組んだ経験は、大きな自信と、かけがえのない絆を残してくれました。

修学旅行。仲間と共に過ごした時間、専属のタクシー運転手さんとの楽しいやりとり、見慣れない景色の中で交わした会話、班の仲間と食べた抹茶ティラミス、同じ部屋で夜遅くまで語り合った時間。私たちの絆を一層深めてくれた三日間はあっという間に過ぎていきました。

合唱コンクールでは、クラス一丸となって何度も練習を重ねました。思うように声がそろわず、意見がぶつかることもありましたが、互いに励まし合いながら歌い続けました。本番で心を一つにして歌い切ったあの感動と舞台からみた景色は忘れることができません。

成田中学校での思い出はどれも鮮明に覚えています。

ここまで私たちが成長できたのは、温かく、時には厳しく指導して下さった先生方のおかげです。悩んでいたときにかけて下さった言葉、努力を認めて下さった言葉、全てが私たちの支えになりました。三年間ありがとうございました。

一番近くで私たちを支えてくれた家族。美味しいご飯を作ってくれたり、洗濯して綺麗な洋服を用意してくれたり、いろいろな場面で支えてくれてありがとう。3年間の集大成となる受験は、勉強も正直辛くて大変だったけれど、もらった優しい声かけや、当日作ってくれたお弁当が、私に力をくれました。

何気ない日常の中にある温かさに、大きな力をもらっています。これからもたくさん迷惑をかけてしまうと思いますが、どうか変わらず見守っててください。

1、2年生のみなさん。行事や部活動の時に、一緒に頑張ったり話したりできて、楽しかったです。これからの成田中学校の中心はみなさんです。これからも周りの人たちとの関わりを大切にして、みんなで笑い合える学校にしていってほしいと願っています。頑張ってください。

そして、共に過ごした仲間へ。辛い時も楽しいときも隣を見れば仲間がいました。全力で取り組んだ行事も、休み時間や放課後の何気ない日常も、仲間と過ごした一瞬一瞬がかけがえのない宝物です。休みの人がいた時に係の仕事などをさっと手伝ってくれたり、誰かがものを落とした時にすぐ拾ってくれたり、困っている人がいた



らすぐに助けてくれる、そんなみんなが大好きです。みんなと出会えてよかった、一緒に笑い合った仲間がみんなであつたこと心から思っています。ありがとう。

私たちは学年目標「大樹」のもと、様々な価値観を学び、自分らしさについて考え、仲間や後輩を思いやり、先々のことに対して自分で考え行動してきました。これから先の人生でも、私たちは自身の木の土壌を整え、水や光を与え、大きく成長していきたいと思ひます。

それぞれ進む道は違ひますが、ここで学んだこと、過ごした時間を胸に、自分の選んだ道を信じ、力強く歩いていきます。

令和8年3月12日 卒業生代表

送辞

厳しい冬の寒さの中にも、春の訪れを感じることでできる季節を迎えました。このような佳き日に先輩方のご卒業を迎えられましたことを在校生一同、心よりお祝ひ申し上げます。

3年前、希望と少しの不安を胸にこの校門をくぐられた先輩方。そんな先輩方が本日、立派に成長された姿でこの学び舎を巣立とうとされています。私たちはその凜とした姿を間近で見ました。

先輩方は、いつも私たちの目標であり、憧れの存在でした。部活動では、厳しい練習にも真剣に取り組み、最後まであきらめない姿を示してくださいました。言葉だけでなく行動でも示す先輩方の姿が私の支えでした。

また、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事では、中心となって学校全体を引っ張ってくださいました。よりよいものを目指すが故に、仲間と意見がぶつかることもあったのではないのでしょうか。それでも互いに話し合い、心を通わせることであの感動が生まれたのだと思ひます。先輩方のおかげで私は協力することの大切さを学びました。先輩方が築いてくださった伝統と雰囲気は、これからも私たちが絶やすことなく、大切に受け継いでいきます。

日常の何気ない場面でも、私たちはたくさん支えていただきました。困っているときにかけてくださった温かい言葉、廊下で交わしたあいさつや笑顔、行事の準備で見せてくださった真剣な表情。その一瞬一瞬が、私たち在校生の励みとなり、学校生活を彩っていました。

明日から、この校舎に先輩方の姿はありません。その事実を思うと、胸が締めつけられる思いがします。こんなにも私の中で、先輩方の存在が大きく、かけがえのないものへとなくなっていくことを今更ながら実感しています。しかし、先輩方が残してくださったものは、決して消えることはありません。努力する姿、仲間を信じる心、学校を思う気持ち。それらは確かに、私たちの中に受け継がれています。

これからは私たちが、その思いを胸に、この学校を支え、先輩方が築いてくださった伝統と誇りを大切にしながら、さらに前へ進んでいきます。

今日、この成田中学校の門を出た瞬間にそれぞれが新しい道への一歩が始まります。不安や迷いに出会うこともあると思ひます。その時はどうか、この場所とともに笑い、ともに悩み、ともに成長した日々を思い出してください。その記憶は、きっと先輩方の背中を押してくれるはずです。

私たちは、先輩方からたくさんの幸せを与えてもらいました。誰かを幸せにできる人は、その人自身も幸せになれると私は信じています。

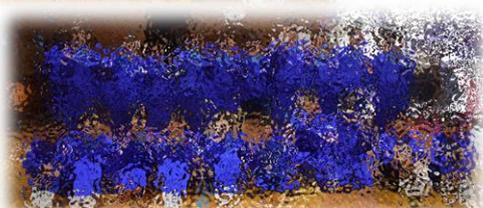
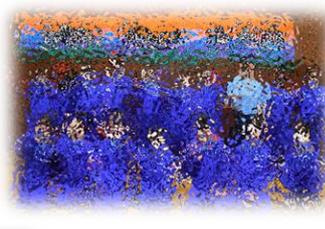
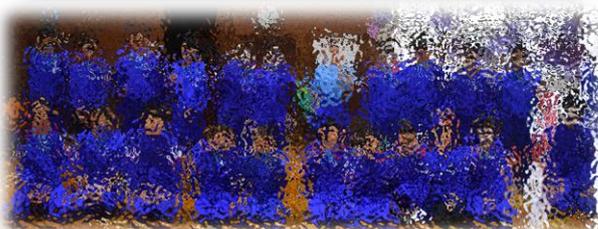
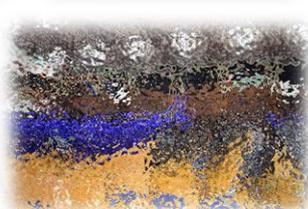
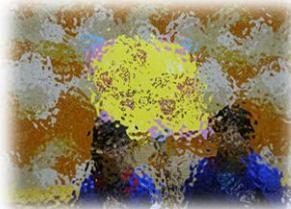
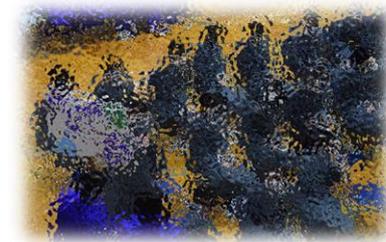
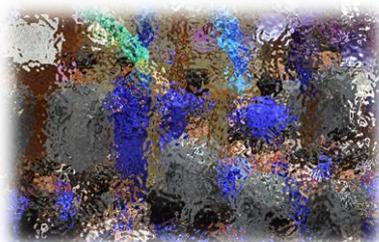
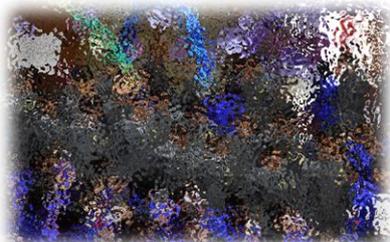
最後になりますが、卒業生の皆さまの未来が、希望と幸せに満ちあふれたものでありますよう、在校生一同、心よりお祈り申し上げます。

在校生代表



予餞会

3月2日(月)に予餞会を実施しました。3年生のために、1、2年生の予餞会実行委員、生徒会本部、各係、各部活動がそれぞれ準備をし、全校でとても和やかな時間を過ごすことができました。キレイのダンスや劇を用いたクイズなどを後輩たちが3年生に披露しました。また、3年生の合唱「カイト」は、後輩たちに歌声の素晴らしさを伝える、頼もしい歌声でした。3年生の皆さん、楽しめましたか!?



編集後記 3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。成田中学校での生活はどのようなものだったでしょうか?十人十色、様々な思い出があることと思います。「夢を力に」...自分の信じた道を突き進んでください!保護者の皆様におかれましても、今日まで本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。お子様の義務教育9年間の修了、そして、新たな道への門出、誠におめでとうございます。「令和7年度成田市立成田中学校第79回卒業式」、3年生はもちろんのこと、その勇姿を目に焼き付けた1,2年生にとっても次へのステップとなりました。ありがとう3年生!!!